

“世界一有名なブラス・クインテット”
伝説のアンサンブル 最強メンバーを携え、再び世界を席巻する!

カナディアンブラス

CANADIAN BRASS

比類なきヴィルトゥオーゾティ、高い即興能力、そしてユーモア・・・
彼らが“ブラス・クインテット”を世界に認めさせたのだ

ワシントン・ポスト

エリック・リード
Eric Reed, horn

ケイレブ・ハドソン
Caleb Hudson, trumpet

クリス・コレッティ
Chris Coletti, trumpet

チャック・デーレンバック
Chuck Daellenbach, tuba

アキレス・リアルマコプーロス
Achilles Liarmakopoulos, trombone

CANADIAN
BRASS

PROGRAM

シバの女王の入城 / G.F.ヘンデル
おいで、さあかわいい恋人よ / J.ダウランド
幻想曲とフーガ / J.S.バッハ
コラール前奏曲 第10番 / J.ブラームス
《子供の情景》《謝肉祭》より / R.シューマン
ペニー・レイン / ザ・ビートルズ

グランパ・スペル — おじいちゃんのおまじない / J.R.モートン
ラ・クンパルシータ / G.マドス=ロドリゲス
ワルツ・セレクション / J.ブラームス
スイングしなけりゃ意味ないね / D.エリントン
トリビュート to バレエ

※曲目・曲順が変更される可能性がございます。予めご了承下さい。

2013.7.30(火) 19:00開演
[18:00開場]

東京芸術劇場 コンサートホール
(池袋駅 西口徒歩2分/2b出口直結)

全席指定 S 5,000円 A 4,000円 学生 3,000円

※各金管楽器協会会員500円引き(受付はプロアルテムジケのみ) ※未就学児童入場不可。
コンサート後半券3,000円(当日空席がある場合、休憩時に販売)

プレイガイド: 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 www.geigeki.jp/t/
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 www.t-bunka.jp
チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp [Pコード201-622]
イープラス eplus.jp
ローソンチケット 0570-000-407 l-tike.com [Lコード:39542]
カンフェティ 0120-240-540 confetti-web.com 他都内主要楽器店

協賛: 野中貿易株式会社

後援: カナダ大使館、東京都吹奏楽連盟、日本トランペット協会、日本ホルン協会、
日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会

主催: チケットお申込み・お問合せ:

プロアルテムジケ PRO ARTE
USICAE

TEL.03-3943-6677

www.proarte.co.jp

※HPからの入会・お申込みで、割引ポイントたまります。

伝説の金管五重奏団 カナディアン・ブラス

もし人生で確かなことがあるとすれば、それはカナディアン・ブラスを聴けば、心から楽しみ、高揚し、そして満足するということだ。

ClassicsToday.com

カナディアン・ブラスを好きになるのに、ブラスとかクラシック音楽とか枠を設ける必要はない。40年のステージ経験を経るなかで超絶技巧は冴え渡り、にこりともせず爆笑のコメディをやっている。完成された名人芸だ。

The Plain Dealer, 2011

耳なじみのよいアレンジ、絶妙なユーモア、そして一方で正統派ブラスファンも唸らせる完成度は圧巻。

WQXR.org, 2012

40年以上にわたり世界中で聴衆を魅了し続ける、スーパー・ブラス・クインテット。レパートリーはブラスのスタンダードから幅広いオリジナルのアレンジまで多岐にわたり、抜群の存在感と聴衆との絶妙なコミュニケーションは、最高のステージパフォーマンスを創出する。長年にわたりアメリカ、カナダ、日本、ヨーロッパ、オーストラリア、中東、ロシア、南アメリカなど世界中でツアー。ブラス・クインテットの音楽を開拓し多くの聴衆に伝えてきた、まさにパイオニア。リリースしたアルバムは90を越え、売り上げは世界で200万枚を越える。各地でのマスタークラス、若い世代との交流も積極的に行う。40年の歴史の中でメンバーの変遷を経て、伝統のブラス・クインテットは更なる充実、進化を遂げている。

クリス・コレッティ

Trumpet

2009年よりメンバー。ジュリアード音楽院に学んだ後、ハンツビル響首席奏者に就任。幅広いジャンルの著名音楽家との共演も多く、P.ブーレーズ(指揮)、M.ティルソン・トーマス(指揮・ピアノ)、R.ムーティ(指揮)などからクインシー・ジョーンズ、カルロス・サンタナ、グロリア・エステファンなどまで。教育者としての活動も世界各地で活発に行い、最近ではエル・システム(ベネズエラの有名な音楽制度)に参加。カナディアン・ブラスの4つのアルバムに参加している。作曲家としての評価も高く、カナディアン・ブラスのレパートリーのアレンジも多く手がけている。天性の明るさで、カナディアン・ブラスの親しみやすい雰囲気盛り上げるムードメーカー。ロックオーケストラ「Emanuel and the Fear」でトランペットとテルミンを担当。絶対音感を持ち、口笛も得意、名シンガーでもある。ニューヨーク、マンハッタン在住。

ケイレブ・ハドソン

Trumpet

2012年ジュリアード音楽院卒業と同時に加わった新メンバー。リンカーンセンターのチェンバー・ミュージック・ソサエティとの共演でパッハのブランデンブルク協奏曲でソロデビューを果たす。ヴェルビエ音楽祭、ミュージックアカデミー・オブ・ザ・ウェスト、アスペン音楽祭に出演。ナショナル・トランペット・コンペティションでは度々優勝。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、ニューヨーク・トランペット・アンサンブル、アメリカン・ブラス・クインテットなどと共演。バロック音楽にも造詣が深い。ケンタッキー州レキシントン出身。現在、Symphony in Cの首席奏者を務め、またカーネギーホールの大学院プログラムも修めている。

エリック・リード

Horn

2010年メンバーに加わる。ジュリアード音楽院にてジュリー・ランズマンに師事。ソロ、室内楽、オーケストラ、あらゆる分野でアメリカ、ヨーロッパ、アジアで活躍。スペクトラム・ブラス・クインテットの創立メンバーでもある。ニューヨーク・フィルハーモニック、オルフェウス室内管、セントルークス管、ニューヨーク・シティオペラ、インターナショナル・コンテンポラリー・アンサンブル、フロリダ管、カンザス・シティ響などと演奏。ニューヨークでは更に様々なジャンルで活躍し、ラジオシティ・ミュージックホールのクリスマスプログラムやラテンのビッグバンド、ブロードウェイ・ミュージカル、またレイ・チャールズ、ボーイズIIメンなどのステージにも出演、専門誌への執筆活動も行うなど多彩な活動を行っている。ニューヨーク在住。

アレックス・リアルマコブロス

Trombone

二番目に新しいメンバー。ギリシャ生まれ。イェール大学音楽院、カーティス音楽院、サンフランシスコ音楽院などに学ぶ。イェール大学卒業時には、大学よりフィリップ・フランシス・ネルソン賞を授与。C.リンドバーク国際コンクール、ヨーロッパ・ヤマハ音楽財団国際トロンボーンフェスティバルなど多くのコンクールで輝かしい成績を収める。優れたソリストでもあり、スタンダードなレパートリーに加え新作初演、重要な作品の発掘など、意欲的な活動を展開。現代作曲家からの作品献呈も多数にのぼる。アメリカ、中国、ヨーロッパでソロリサイタルを開催、また世界各地の名門オーケストラにて演奏。現在、ギリシャ放送響首席奏者を務める。ピアソラ作品のデビューアルバム「タンゴ・ディスティント (Tango Distinto)」(Naxos) も高評を博す。

チャック・デーレンバック

Tuba

1970年のグループ結成当時から残る唯一のメンバー。豊かな音楽性とイマジネーション、ユーモアをもち、すべての革新的な活動において重要な役割を担ってきたカナディアン・ブラスの重鎮。シカゴ響伝説のチューバ奏者、アーノルド・ジェイコブスに師事。イーストマン音楽学校にて25歳で博士号取得後、カナダ、トロント大学にて教鞭をとる。まもなくトロンボーン奏者ジーン・ワッツと出会い、共にブラス・クインテットを結成。これが「カナディアン・ブラス」の始まりであった。以降、カナディアン・ブラスを世界のトップアンサンブルとして率い、多くの歴史的な名演を生み出すこととなる。その中には2回のエリザベス女王御前演奏もあった。チャックのコンサート中の軽妙なトークはすべての聴衆をひきつけ、笑わせ、あらゆる時代の優れた作品を、あらゆる聴衆へと届けてきた。40年以上にわたるレコーディング数も膨大、世界中の多くの著名音楽家、指揮者と共演。現在活躍するチューバ奏者の中でもひととき知られた存在である。現在、トロント在住。

カナディアン・ブラス
その他の来日予定

2013年 7月24日(水)~7月28日(日) パシフィック・ミュージック・フェスティバル(北海道)
2014年 11月 日本ツアー

canadianbrass.com